

平成 18 年 12 月 20 日

「川村博通先生を偲ぶ会」のご報告

平成 18 年 10 月 14 日（土）天現寺 幼稚舎のけやきホールにおいて、「川先を偲ぶ会」が盛大に執り行われた。

川先は、1980 年（昭和 55 年）10 月 18 日に箱根「福住旅館」で倒れられ、享年 67 歳で亡くなられた。今年はちょうど 27 回忌にあたる。

川先の幼稚舎の最初の担任の教え子たちは、もう 80 歳になろうとしている。門人たちが川先を偲び、一堂に会する会も最後であろうということから「川先を偲ぶ会」の実施が決まったのである。

年初、1 月に世話人会が発足し、各会から 1～2 名の世話人が指名され、楽籠よりは町田会長（深空会）と高山（7 期）が出席した。

当日の参加者は、川先が幼稚舎で担任した 8 つのクラスおよび川先を師として集まった楽籠をはじめ 6 つのクラブの門人たち、さらに登高会の方々、幼稚舎の先生方をお招きして、340 名と会場いっぱいの出席者となった。

「偲ぶ会」に先立ち、川先の菩提寺である高円寺の圓福寺別院において、町田会長の陣頭指揮のもと、各会の有志が墓参をした。

偲ぶ会は、増岡隆一氏（リーベン）の司会のもと、メルシャンの鈴木忠雄氏（行雲会）の開会挨拶で始まり、XELOX の小林陽太郎氏（薪水会）による献花、ご存知松原先生の挨拶、松竹の大谷信義氏（嶺花会）による献杯のあと、懇談となった。献杯のお酒は楽籠 OB 会が寄贈した川本氏（3 期）の美波太平洋の川先バージョンが使用された。

会場には各会より出品された川先の思い出につながる品々が展示され、皆興味深く閲覧していた。楽籠からは川先からの手紙と「楽籠 50 年」を展示した。懇談の途中で場内が暗くなり、ザワザワしていた会場が一瞬静まり返った。「川先イズム＝楽籠クラブ」の DVD が上映されたのである。参会者も川先の在りし日の写真を懐かしそうな眼差しで熱心に見入っていた。なかでも川先の肉声（10 期小島くんの結婚式のお言葉）が流れると、懐かしさで涙を流す人もいた。

3 時間におよぶ「偲ぶ会」は、最後に川先が愛した歌「旧き友よ」と「幼稚舎の歌」を全員で合唱して散会となった。

川先の酒、DVD と楽籠からの提供品が目立ったこともあり、参加楽籠 OB から“楽籠は、ちょっと出すぎではないの・・・”とのご指摘を受けましたが、世話人会の打ち上げで、“楽籠ありがとう”とのお言葉をいただき、

ほっとしております。

出席者のほとんどが最後まで参加され、和やかで楽しい大変に良い会で、あったと思います。

なお「楽籠注目」に、町田会長よりの詳細なご報告が掲載されますので、ぜひご一読ください。

高山恒男（7期）